

作成日 : 2021/03/26

改定日 2024/09/05

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : フェノール樹脂 顆粒タイプ 黒

製品番号 (SDS NO) : 29\_001\_29\_001\_10-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 検査試料埋め込み用

使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ハルツォク・ジャパン株式会社

住所 : 東京都豊島区駒込2-3-7

電話番号 : 03-5907-1771

FAX : 03-5907-1774

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚感作性: 区分 1

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(全身毒性、腎臓、膀胱)

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(全身毒性、腎臓、膀胱)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じんを吸入しないこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄  
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報  
化学物質・混合物の区別：  
混合物

| 成分名              | CAS No.    | 含有量 (%) | 化審法番号  |
|------------------|------------|---------|--------|
| フェノール樹脂          | 9003-35-4  | 30 - 40 | 7-903  |
| 木粉               | -          | 30 - 40 | -      |
| ステアリン酸カルシウム      | 1592-23-0  | 2.5     | 2-611  |
| 炭酸カルシウム          | 471-34-1   | 10 - 15 | 1-122  |
| ポリエチレングリコール      | 25322-68-3 | 1       | 7-129  |
| C.I. ピグメントブラック 1 | 13007-86-8 | 0.999   | 5-3327 |
| ヘキサメチレンテトラミン     | 100-97-0   | 1 - 10  | 5-1155 |
| フェノール            | 108-95-2   | 0.999   | 3-481  |

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。  
重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

危険有害成分  
安衛法「表示すべき有害物」該当成分  
C.I. ピグメントブラック 1, フェノール ,  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分  
C.I. ピグメントブラック 1, フェノール ,  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)  
化管法「第1種指定化学物質」該当成分  
ヘキサメチレンテトラミン  
化管法「特定第1種指定化学物質」該当成分  
C.I. ピグメントブラック 1

4. 応急措置  
応急措置の記述  
一般的な措置

医学的な助言が必要なときには、このSDS、製品容器やラベルを持っていくこと。  
吸入した場合  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
皮膚(又は髪)に付着した場合  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
眼に入った場合  
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
飲み込んだ場合  
口をすすぐこと。  
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。  
直ちに医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

吸入:上気道刺激、咳

飲み込み:吐き気、嘔吐

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

皮膚:皮膚刺激、発赤、アレルギー皮膚反応のおそれ

眼:眼刺激、発赤

#### 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

##### 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

##### 使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

#### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

#### 消火を行う者への勧告

##### 特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

安全な位置と距離から消火を行うこと。

##### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じんを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの発生と堆積を防止する。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

強酸化性物質、塩素、フッ素との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

飲食物、動物用飼料から離して保管する。

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(C.I. ピグメントブラック 1)

作業環境評価基準 0.05mg-Cr/m<sup>3</sup>

許容濃度

(フェノール)

日本産衛学会(1978) 5ppm; 19mg/m<sup>3</sup> (皮)

(ステアリン酸カルシウム)

ACGIH(2017) TWA: 10mg/m<sup>3</sup>(I); 3mg/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激)

(ヘキサメチレンテトラミン)

ACGIH(2021) TWA: 1mg/m<sup>3</sup>(IFV) (皮膚感作)

(フェノール)

ACGIH(1996) TWA: 5ppm (上気道刺激; 肺損傷; 中枢神経系障害)

[ACGIH] 特記事項

(ヘキサメチレンテトラミン)

皮膚感作性

(フェノール)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体（顆粒）

色：黒色

臭い：僅かなフェノール臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：8.0 - 9.0

動粘性率：適用外

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

反応性データなし

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

### 避けるべき条件

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

### 混触危険物質

強酸化性物質、塩素、フッ素

### 危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

## 毒性学的影響に関する情報

## 急性毒性

## 急性毒性(経口)

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=340-530mg/kg (AICIS IMAP, 2014)

## 急性毒性(経皮)

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=0.50mL/kg (密度1.071g/cm3による換算値: 536mg/kg) (EPA Pesticides RED, 2009)

## 急性毒性(吸入)

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

データなし

## 局所効果

## 皮膚腐食性/刺激性

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

(OECD TG 431) 皮膚腐食性 (AICIS IMAP, 2014)

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット (OECD TG 405相当) 重度の結膜炎、虹彩炎、角膜混濁及び潰瘍、14日後にも回復しなかった  
(CERI 有害性評価書, 2008 et al)

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

## 呼吸器感作性

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

データなし

## 皮膚感作性

## [製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

cat. 1; EU-RAR, 2008

## 生殖細胞変異原性

## [製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[IARC]

(フェノール)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(ステアリン酸カルシウム)

A4(2017): ヒト発がん性因子として分類できない

(ヘキサメチレンテトラミン)

A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない

(フェノール)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

cat. 2; EU-RAR, 2008

(フェノール)

cat. 1B; EFSA, 2013 et al.

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

全身毒性、腎臓、膀胱 (EU-RAR, 2008; HSDB, 2015)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

## [成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 &gt;100mg/L/48hr (環境省, 2002)

(フェノール)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ) LC50=3.1mg/L/48hr (MOE初期評価, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC &gt;99mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2002)

(フェノール)

魚類 (Cirrhina mrigala) NOEC=0.077mg/L/60days (SIAP, 2004)

## 水溶解度

(ステアリン酸カルシウム)

0.004 g/100 ml (15°C) (ICSC, 2003)

(炭酸カルシウム)

非常に溶けにくい (14 mg/l, 25°C) (ICSC, 2012)

(ポリエチレングリコール)

非常によく溶ける (ICSC, 2004)

(ヘキサメチレンテトラミン)

44.9 g/100ml (PHYSROP\_DB, 2005)

(フェノール)

溶ける (ICSC, 2001)

## 残留性・分解性

[成分データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

急速分解性なし (BOD分解度 : 22%/14 days; TOC分解度 : 45%/14 days; HPLC分解度 : 48%/14 days (通産省公報, 1979))

(フェノール)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 85% (METI既存点検結果, 1979))

## 生体蓄積性

[成分データ]

(ヘキサメチレンテトラミン)

log Pow=-2.84 (ICSC, 2002)

(フェノール)

log Pow=1.46 (ICSC, 2001)

## 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

## 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

## 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

この物質は有害廃棄物として処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

廃棄処理に際し粉じんの発生を防止すること。

## 汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない  
正式輸送名：該当しない  
分類または区分：該当しない  
容器等級：該当しない

## IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：該当しない  
正式輸送名：該当しない  
分類または区分：該当しない  
容器等級：該当しない

## IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：該当しない  
正式輸送名：該当しない  
分類または区分：該当しない  
容器等級：該当しない

## 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

## 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

## MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)  
フェノール  
有害液体物質(Z類)  
ヘキサメチレンテトラミン; ポリエチレングリコール

## MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質  
フェノール  
特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質  
ヘキサメチレンテトラミン

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。  
航空法に該当しない。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

## 労働安全衛生法

特化則に該当しない  
有機則に該当しない  
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
名称表示危険/有害物

C.I. ピグメントブラック 1(別表第9の142); フェノール(別表第9の474);  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)

## 名称通知危険/有害物

C.I. ピグメントブラック 1(別表第9の142); フェノール(別表第9の474);  
ヘキサメチレンテトラミン(令和7年4月1日施行)

## 皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

ヘキサメチレンテトラミン

## 変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

ヘキサメチレンテトラミン

## 化学物質管理促進(PRTR)法

## 第1種指定化学物質

1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1(3,7)]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)(10%)  
[ヘキサメチレンテトラミン(10%)(管理番号258)]

## 特定第1種指定化学物質

六価クロム化合物(クロムとして)(1.0%)[C.I. ピグメントブラック 1(1.0%)(管理番号88)]

## 労働基準法

## 疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)

C.I. ピグメントブラック 1; フェノール

## 消防法に該当しない。

## 化審法

## 優先評価化学物質

フェノール(通し番号62 人健康影響)

## 大気汚染防止法

## 揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

フェノール

## 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

C.I. ピグメントブラック 1(中環審第9次答申(別表1)の49)  
ヘキサメチレンテトラミン(中環審第9次答申(別表1)の120)  
フェノール(中環審第9次答申(別表1)の185)

## 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質/優先取組物質

C.I. ピグメントブラック 1(中環審第9次答申(別表2)の6)

## 特定物質 政令第10条第1号から第28号

フェノール(政令第10条第17号)

## 水質汚濁防止法

## 指定物質

C.I. ピグメントブラック 1  
法令番号 53  
ヘキサメチレンテトラミン  
法令番号 56  
フェノール  
法令番号 55

## 16. その他の情報

## 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN  
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)  
IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2023 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)  
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度)）です。